



千代愛用の眼鏡と原稿



若き日の宇野千代、姉妹：三井永一



「生きて行く私」生原稿



「生きて行く私」の舞台で宇野千代を演じた山本陽子と千代

生きて行く私

宇野千代展

【展覧】三井水一

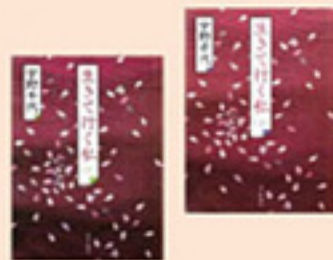
「おはん」「風の音」等の代表作で野間文芸賞、女流文学賞、芸術院賞ほか数々の栄誉に輝き、文化功労者にも顕彰された、近代日本を代表する女性作家宇野千代。

常に濃く身を処し、自らを見つめて文字を成長させた生涯は「生きて行く私」に代表される鮮烈な自叙伝にも著されています。

仕事に誠実で自分と生活を美しくするべく努力、生きることを心底から楽しむ人生哲学、その「生きて行く力」に私たちは今も励まされています。



昭和11年39歳の千代
四谷大善町のスタイル編集室にて



「生きて行く私上・下」昭和58年 毎日新聞新聞連載時より大反響。出版するとたちまち大ベストセラーとなった宇野千代の自伝。誕生から85歳までの人生を語る。連続ドラマ化、舞台化され、宇野千代ブームを巻き起こした。



千代が大切にしていた遺愛品

NPO 宇野千代生家

〒741-0082

山口県岩国市川西2-9-35

☎0827-43-1693

◎交通のご案内



●JR岩国駅から徒歩20分程度です。
●タクシーご利用の方(川西の宇野千代生家へ)。
●バス利用の方(岩国駅西口より徒歩7分。)

映像室

開館5周年を記念して、千代先生と親交のあった「地球交響曲」の映画監督 龍村仁さんによる千代先生のドキュメント映像「湯ヶ島篇」と「私生活篇」の2篇を11時・12時・13時・14時・15時に上映いたします。どうぞお楽しみ下さい。